

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	補助金等審議会事業			会計	款	項目	大	小
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		主管課	財政調整課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	安井 彰			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市の補助金	意図	市が交付する補助金の適正化を図る
事業内容	市が新規に交付する補助金やすでに交付している補助金について、審議員から意見を求めて補助金の適正化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年8月30日に設置 平成26年度は、審議会の委員を募集し、委嘱した。 平成26年度全件審査諮問件数128件。 補助金件数は、平成15年度の155件から平成26年度128件となっている。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		適正判断された補助金割合	91.30	100	97.80	%	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成26年度は、本市補助金等の全件審査を行った。
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	市単独補助金等については、93件中A評価53件、B評価38件、C評価2件となった。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,971,600	1,780,600	4,314,717	平成27年度予算における審査にいては、18件中、A評価15件、B評価2件、C評価1件となった。			
事業費(b)(円)	316,800	273,600	965,800				
うち一般財源	316,800	273,600	965,800				
職員給与費(c)(円)	1,654,800	1,507,000	3,348,917				
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.40				
人役・再任用(人)			0.20				
人役・臨職(人)	0.20	0.10	0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	平成26年度は、全件審査を実施し全補助金等の内容について、補助金等審議会に評価をいただき、見直しが必要な補助金等については、見直しを行う。	取り組みの課題	予算年度の審議会の審査は、あくまでも新規、増額の補助金についてのみ審査を行っていることから、事業費の変更のない補助金についての取扱いについては、課題がある。
今年度(H26)に実施した取り組み	審議会の答申において、C評価の補助金については、各担当課において、補助金等の内容改善や期間の変更の見直しを立てることができた。	今後の改善計画	審査対象外の補助金についても、審議会委員にその内容等を実行プランでお示しする。